

ホク口

綺麗なホク口の取り方

ホク口取り治療のポイントは、

「単に取るのではなく、傷を残さず綺麗に取る」

ことです。

綺麗に取るために

レーザーと形成外科的切除を使い分けています。

費用（税別）

■ レーザー治療（私費）

・ホク口レーザー治療（1カ所）	5,000円
・施術後の化膿止め軟膏	1,000円
・再発（1カ所）	3,000円

■ 形成外科的切除法（保険適応）

病理検査が必要な場合は保険適応です。

病理検査代など諸費用を含めて、3割負担の場合は

・顔（2cm以下）	約9,000円
・体（3cm以下）	約8,000円

※病理検査

切除したホク口が悪性ではないか、また、完全に切り切れているかを調べる大切な検査です。当院から切除したホク口を専門の病理検査医師に依頼して調べます。

当院のホク口取り法

炭酸ガスレーザー

ホク口の根や予備軍も含めて、深い部分まで取りきれます。施術後は皮膚に小さな穴が開きますが、徐々に収縮して目立たなくなります。ただし、大きく施術しすぎると、皮膚の収縮する限界を超えて、陥没した瘢痕が残ってしまいます。綺麗に取るには直径2mmが限界です。

美しさは心のビタミン

ルビーレーザー

ホク口の黒い部分のみに反応し、正常皮膚にはダメージを与えないレーザーです。傷の陥没もなく大きく施術できますが、炭酸ガスレーザーのように深い部分のホク口までは無理です。深部まで取るためには数回の施術が必要です。

形成外科的切除法

大きなホク口を綺麗に取る方法です。ホク口の切除、特に女性の顔の切除は、形成外科の専門領域です。形成外科医のいないクリニックは切除を行ってはいけません。当院は院長（日本形成外科学会認定専門医）がおこないますのでご安心ください。レーザーで取るよりは綺麗です

ホク口の治療法

小さなホク口

炭酸ガスレーザーとルビーレーザーで取ります。出血もなく、綺麗にホク口の深い根まで取れます。

少し大きなホク口

炭酸ガスレーザーとルビーレーザーで取ります。周辺部からホク口再発することがあり、黒い点が出る場合があります。その場合は再度、レーザー照射をおこないます。

大きなホク口

レーザー治療の限界を超えています。形成外科の手技で切除します。切除したホク口は病理検査をおこないます。



施術の実際

痛み

レーザー治療は氷で皮膚を冷やして行いますので、あまり痛みありません。形成外科的切除法も氷で皮膚を冷やして、局所麻酔を行います。少しチクリとする程度です。

経過・再発

●炭酸ガスレーザー

2～3日で黒いカサブタになり、1週間ぐらいで落ちます。傷は収縮して判らなくなります。傷を綺麗にするために、最少の大きさで取ります。稀に再発する事があります。再度、炭酸ガスレーザーで取ります。最終的に傷が小さくて綺麗です。

●ルビーレーザー

炭酸ガスレーザーと同じように2～3日で黒いカサブタになり1週間ぐらいで落ちます。浅いホク口は1回で取れます。深いホク口は3～4回の施術が必要です。

●形成外科的切除

5～7日目に抜糸します。1ヶ月～3ヶ月は傷が赤いです。稀に、ホク口予備軍から再発することがあります。この場合はレーザーで取ります。

日常生活の制限

どの方法も特に制限はありません。施術当日より洗顔や入浴は可能です。

●レーザー治療の場合

- ・化膿止め軟膏を1日2回塗布してください。自然にカサブタが落ちます。
- ・施術後は1ヶ月～3ヶ月は傷が赤いです。この間はUVカットのファンデーションやテープで隠してください。稀に数ヶ月赤みが続く事があります。

●形成外科的切除法の場合

- ・傷が落ち着くまでは少し時間が必要です。
- ・施術後3週目より創部のマッサージを行います。